

⑪ 危機管理研修

関連する研修

- ・ハードクレーム対応研修
- ・判断力・決断力研修

〈本研修で習得を目指すスキル〉

- ◆ 有事の際のマスコミ対応や緊急記者会見の基本知識のノウハウと質疑応答のスキル
- ◆ 不祥事や事故に対する状況認識把握、判断、対応スキル

日 時：令和3年10月18日（月）9：20～17：00

会 場：佐賀県市町会館3階 大会議室

対象者：係長級以上の職員（定員 35名）

〈研修内容〉

I. 管理職の危機管理必須知識と心得

1. 監督者にとってのリスクマネジメントとは
2. 不祥事を起こす3つの原因と3つの防止策
3. 管理職は、職場でのコンプライアンス意識の啓発を図れ！
4. 不祥事防止のための日頃の管理職の指導心得
5. 危機発生時の記者の取材心理と視点を知る
6. 災害・事故発生時のマスコミ対応のポイント
7. 不祥事発生時のマスコミ対応のポイント
8. 緊急記者会見の必須知識と応答の心得

II. グループ討議「こんなとき、どう対応する？」

次の2テーマについて事前検討のうえご参加下さい。

ケース1. 施設での職員のセクハラの内部告発が届いた。

ケース2. 行政クレームの対応に部下が困り抜いている。

III. 模擬記者会見

下記の記者会見テーマについて「Q&A」を事前に各自で作成して参加して下さい。

テーマ：「職員が生活保護費の返還金を着服していることが判明した…」



講師 田中 正博氏より一言

講義のレジュメを、職場に戻ってからも常に読み返す習慣をつけてください。
必ず、判断力、対応能力を身に着けることができますので。

⑫ 財務事務研修

関連する研修

- ・ 公会計研修基礎編
- ・ 公会計研修応用編

日 時：令和3年9月7日（火） 9：50～16：00

会 場：各自治体にて（WEB 研修）

対象者：出納・財務事務担当の初任者（定員 60名）

〈研修内容〉

10：00～12：00 市町村財政動向

13：00～14：00 収入・支出事務

14：10～16：00 契約事務

講師；市町村財政動向／契約事務
収入・支出事務

佐賀県地域交流部市町支援課職員（予定）
佐賀県出納局会計課職員（予定）

⑬ 公 会 計 研 修

〈基礎編〉

関連する研修

- ・ 公会計研修応用編
- ・ 公共 MBA 研修初級
- ・ 公共 MBA 研修中級
- ・ 市町財務事務研修

〈本研修で習得を目指すスキル〉

- ◆ 複式簿記の基礎
- ◆ 貸借対照表に対する理解

日 時：令和3年8月18日（水）9：20～12：30

会 場：佐賀県市町会館3階 大会議室

対象者：全職員（定員 40名）

※ 電卓を持参すること（スマホの電卓機能可）

〈研修内容〉

1. なぜ、複式簿記なのか？
2. 複式簿記の基本的な仕組み
3. 費用の配分とは何か？
4. 貸借対照表とは何か？

これらの内容を解説するとともに、問題演習を行うことによって、複式簿記の基礎を身に付ける。また、単式簿記の官庁会計では作成されることのない貸借対照表について、複数の有名企業のものを使って簡単な財務分析を行うことにより体験的に学習する。貸借対照表とは何かを理解することによって、発生主義・複式簿記を導入する意義を理解する。



講師 五島 賢氏より一言

複式簿記を学ぶということは、新しいゲームのルールを学ぶことです。そのためには、解説書を何回も読むよりは、自分で仕訳を作成する、簡単な財務諸表を作成してみる、簡単な財務諸表分析を行ってみるなど、実際にゲームをやってみることが大切です。

また、複式簿記の学習は新しいスポーツを始めることに似ています。講師の話聞く、解説書を読むだけでは不十分で、自分で練習することが重要です。この研修に参加して練習不足を感じた方は、夏休みに練習を積み重ねていただければと思います。

⑭ 公 会 計 研 修

〈応用編〉

関連する研修

- ・ 公会計研修基礎編
- ・ 公共 MBA 研修初級
- ・ 公共 MBA 研修中級
- ・ 市町財務事務研修

〈本研修で習得を目指すスキル〉

- ◆ 貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書の読み方
- ◆ 将来キャッシュフロー計算書を使った長期財政シミュレーション

日 時：令和3年8月18日（水）13：30～16：30

会 場：佐賀県市町会館3階 大会議室

対象者：複式簿記の基礎知識がある者（基礎編受講者は受講可）

（定員 40名）

**※ 電卓（スマホの電卓機能可）、可能であればスマホもしくは
タブレット持参**

〈研修内容〉

1. 官庁会計の限界と企業会計導入の必要性
2. 貸借対照表・損益計算書を使った分析 その1
3. 貸借対照表・損益計算書を使った分析 その2
4. キャッシュフロー計算書を使った分析

※財務諸表分析はグループ演習形式で実施

東証一部上場企業及び地方公営企業の貸借対照表、損益計算書及びキャッシュフロー計算書を使って簡単な財務諸表分析を行い、「作成された財務書類から何が読み取れるのか？」を体験的に学習する。また、この財務諸表分析を通じて、水道事業及び下水道事業の特徴を理解し、今後の経営のあり方について考察する。



講師 五島 賢氏より一言

この研修は財務諸表分析演習を中心とした参加型の研修です。グループ演習形式で行いますので、黙って講師の話聞くのではなく、積極的に質問する、受講者同士積極的に議論することが重要です。豊富な実例を交えて解説しますので、個人的な感想・思いつきでも何でも結構ですから、積極的に発言してください。

財務諸表分析は、分析指標を計算して、その結果を解釈することが重要です。インターネットで調べることができると、分析指標の解釈に深みが増し、有意義な財務諸表分析が可能になります。当日は電卓及びスマホを持参してください。電卓はスマホの電卓機能で十分対応可能です。

⑮ 行政法研修

関連する研修

・第4部研修

〈本研修で習得を目指すスキル〉

- ◆ 情報公開制度及び個人情報保護制度の趣旨及び運用上のポイント（特に、開示不開示の判断に際しての考え方）
- ◆ 条例の重要性に対する認識を深め、特に、条例制定権の限界に関する法的問題を理解し、今後の条例制定及び法令解釈に役立つ法的知識
- ◆ 職員倫理に対する認識を深めることにより、公務員としての立場と責任を改めて自覚し、自信を持って公務を推進することができるようになるスタンス

日 時：令和3年12月10日（金）9：20～16：30

会 場：佐賀県市町会館3階 大会議室

対象者：全職員（定員 30名）

〈研修内容〉

1. 情報政策

情報公開制度および個人情報保護制度について、佐賀市の条例と自分の自治体の条例を比較しながら、逐条的に、各々の制度の意義、特徴、手続、運用上の相違点や留意点を理解した上で、開示の可否や個人情報の取り扱いの適否を事例の検討を通じて行う。

2. 法的対応

住所（地方自治法10条）について、その意義および関連事例（例えば、ホームレスの住所の認定に関する法律の解釈と対応）を検討。

3. 政策法務

自主的に条例を制定する際に問題となる「法律と条例の抵触」の問題をテーマに、最高裁の考え方を理解したうえで、具体的な事例の検討。

4. 倫理規範

地方公務員法上の義務と責任を確認し、さらに公務員倫理について、「唐津市職員倫理行動規準」を素材として、基本的事項を理解した上で、具体的事例において、職員倫理上の（利害関係者との）禁止行為を判断する際の考え方を検討。



講師 村上 英明氏より一言

皆さんが現在担当しておられる事務の法的問題（特に、情報公開および個人情報保護の分野）に関する質問を受ける時間を取り、時間の許す限り相談にのります（個別に、場合によっては皆さんで検討する形で）ので、情報公開の可否、個人情報の本人開示の適否、その他の法的問題に関して判断が困難な事例を自由に持ち込んでください。